

ESDの推進にかかる 文部科学省の取組について



文部科学省国際統括官付
日本ユネスコ国内委員会事務局



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

ESDは、すべての教育段階において推進されており、新学習指導要領や第3期教育振興基本計画にもESDの目的である「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられている。

小中学校新学習指導要領(平成29年3月公示)

【前文】

これからの学校には、(中略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となることができるようにする**ことが求められる。

【第1章 総則】

第1 小学校(中学校)教育の基本と教育課程の役割

3 (前略)豊かな創造性を備え**持続可能な社会の創り手となることが期待される**児童(生徒)に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、…総合的な学習の時間及び特別活動…の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのか明確にしなが、教育活動の充実を図るものとする。

第三期教育振興基本計画(平成30年6月閣議決定)

第2部 今後5年間の教育政策の目標と施策群

＜主として初等中等教育段階における＞

我が国が**ESDの推進拠点と位置付けているユネスコスクール**の活動の充実を図り、好事例を全国的に広く発信・共有する。また、(中略)**ESDの実践・普及**や学校間の交流を促進するとともに、**ESDの深化**を図る。これらの取組を通して、**持続可能な社会づくりの担い手を育む**。

＜主として高等教育段階における＞

地域の多様な関係者の協働による**ESDの実践を促進**するとともに、学際的な取組などを通じてSDGsの達成に資するような**ESDの深化**を図る。これらの取組を通して、地球規模課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む態度を身に付けた**持続可能な社会づくりの担い手を育む**。



「持続可能な開発のための教育(ESD)推進のための手引」 (令和3年5月改訂版)



この手引について

- 学校現場でESDを広めるには、実施する教員や教務担当が具体的なカリキュラムの組み立てや地域との関係づくりを理解することが必須。こうした手法をステップバイステップで解説する手引きを作成。教員向け研修等で広く活用するもの。
- タイミングとしては、昨年度からESDの理念を盛り込んだ改訂学習指導要領が段階的に実施。国際的にも2021年5月に開催されたESD世界会議をキックオフとして、「ESD for 2030」という新たな国際枠組みが本格始動。
- こうした学習指導要領の改訂や国際的な動向等も踏まえて、令和3年5月に「持続可能な開発のための教育(ESD)推進のための手引」を改訂。

手引はこちら➡

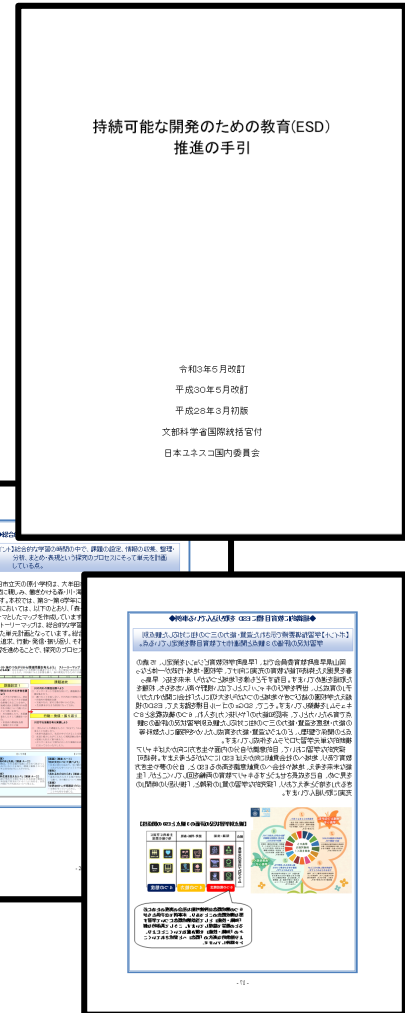
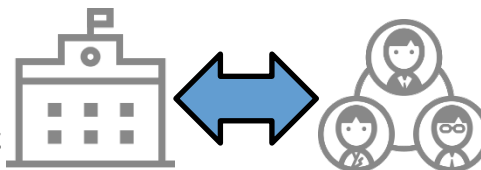
改訂のポイント

- ESD実践のポイントとして、ESD実践のためのカリキュラム・デザインや、学校内外での連携方法の促進について、内容を充実。
- 各学校等においてESDの実践が進むよう、具体的な取組事例の記載を充実。

➡ **学校と多様なステークホルダーが連携しながら、学校教育におけるESDの実践が進むよう、各学校を中心に活用いただく。**

主な活用先

各小・中・高等学校
大学や社会教育機関等の多様なステークホルダー 等



ESD推進拠点としてのユネスコスクール

ユネスコスクールとは？

- ・ ユネスコが加盟承認を行う、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校。
- ・ 現在、世界182の国・地域で11,000校以上。
- ・ 日本国内の加盟校数は1,120校(2019年11月現在)で**世界最多**。
- ・ 来年度から、レビューと候補校制度を開始。

日本全国: 1,120校

幼稚園21, 小学校554, 中学校279,
中高一貫校等60, 高校156, 大学5,
高等専門学校1, 特別支援学校12, その他32

近畿地区: 141校

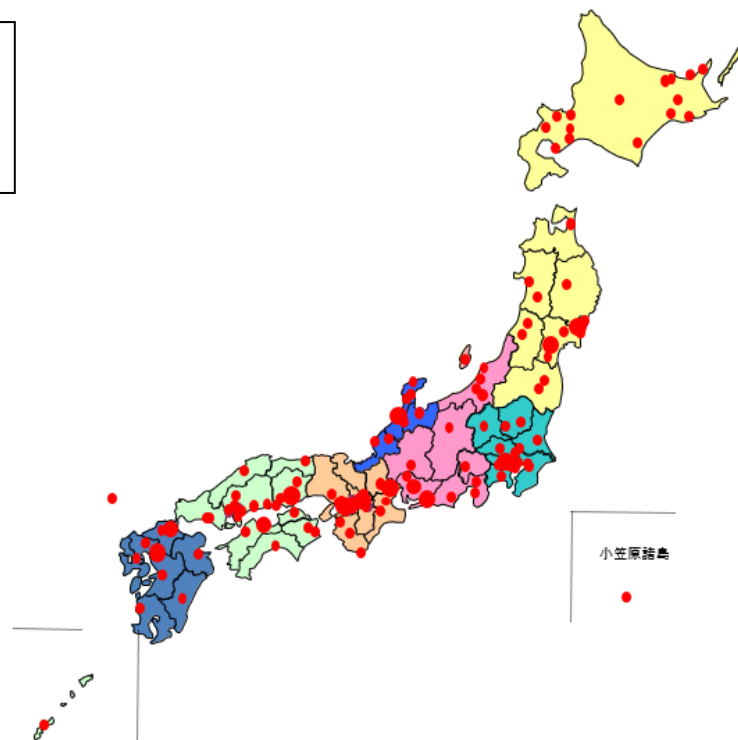
幼稚園5, 小学校52, 中学校26,
中高一貫校等13, 高校33, 大学2, その他10

中国・四国地区: 178校

幼稚園1, 小学校92, 中学校39,
中高一貫校等9, 高校32,
特別支援学校2, その他3

九州地区: 69校

小学校32, 中学校22,
高校12, 特別支援学校1, その他2



北海道・東北地区: 162校

幼稚園8, 小学校77, 中学校42,
中高一貫校等4, 高校25, 大学1,
特別支援学校1, その他4

北陸地区: 119校

小学校84, 中学校32,
高校2, 高等専門学校1

関東地区: 173校

幼稚園2, 小学校75, 中学校38,
中高一貫校等26, 高校22,
特別支援学校2, 大学1, その他7

中部地区: 278校

幼稚園5, 小学校142, 中学校80,
中高一貫校等8, 高校30, 大学1,
特別支援学校6, その他6

参考: ユネスコスクール数の推移 (単位: 校)

1956年度	1960年度	1965年度	1970年度	1980年度	2000年度	2005年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
6	27	22	25	21	20	16	24	78	152	277	367	550	705	913	939	1008	1033	1116	1120

- 持続可能な開発目標(SDGs)実現に向けた取組が広く普及したことや2020年度から本格実施の新学習指導要領において「持続可能な社会の創り手の育成」が明記されたこと、国連総会等で採択され、ESDが全てのSDGs達成に貢献することを掲げた「ESD for 2030」が2021年ESD世界会議から本格実施されること、さらには、新型コロナウイルスの流行や大規模災害等、**予測不可能なことが起こる時代において、持続可能な社会づくりに対する関心とともに、新たに策定した国内実施計画に基づくSDGs達成のための教育(ESD)の推進の必要性がより一層高まっている。**
- このことを踏まえ、**SDGs実現の担い手に必要な資質・能力の向上を図る優れた取組に対する戦略的な支援を実施。**

国内のニーズ

- ◆ 2020年度から本格実施の**新学習指導要領**で、**持続可能な社会の創り手の育成が学校に求められる**と明記。
- ◆ 教育振興基本計画やSDGs実施指針改定版(令和元年12月)にSDG実現のための教育(ESD)の重要性が明記。
- ◆ コロナ禍、大規模災害等を受けて、**持続可能な社会の担い手育成の必要が高まっている。**

教育を通じたSDGsの達成!



国際的なニーズ

- ◆ コロナ禍を受けた持続可能な社会づくりに対する関心、議論の高まり。2019年国連総会及びユネスコ総会における、ESDが全てのSDGs達成に貢献することを掲げた「ESD for 2030」の採択と、**我が国がユネスコと共に主導するESDの一層の推進**
- ◆ 2017年国連決議「ESDはすべてのSDGs実現の鍵である。」

事業の柱

- (1) カリキュラム等開発・実践
- (2) 教師教育の推進
- (3) 教育(学習)効果の評価と普及
- (4) ユース世代の活動の推進

事業趣旨

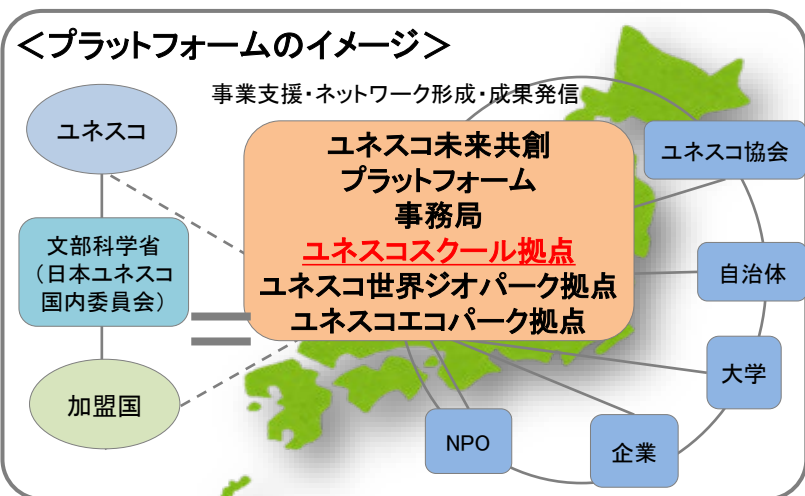
- SDGs実現の視点を組み込んだカリキュラム、教材、地域プロジェクト等の開発や教育実践を行う。
- SDGs実現の中核的な担い手となる教師の資質・能力の向上を図る。
- ESDによる教育(学習)効果や学習者の変容を測る評価手法を開発・実践し、その普及を図る。
- SDGs実現に向けて、ユース世代によるESDの取組を加速させる。

事業内容(例)

- SDGs実現の視点を組み込んだカリキュラム、教材、プロジェクト等の開発や実施、及びその成果の全国的な発信。
- SDGsと地域課題解決・地方創生をテーマとする、民間企業と連携したプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)。
- 教育委員会や大学等と連携した、学校教師や教員養成課程学生等を対象としたESD研修の実施、及びその成果の発信。
- 教育委員会や大学等に対するESDの普及啓発、指導助言、ネットワーク構築等。
- 評価手法の開発と教育現場での実践(評価)、及び評価手法の汎用性の向上と教育関係者への普及。
- ユース世代によるSDGs実現に向けた自主的・独創的な活動を支援・普及(能力向上、ネットワーク構築等)

ユネスコ未来共創プラットフォーム

- **世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化**に向けて、**SDGsの実現**に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内活動と国際協力の成果の往還に資するよう、**国内の多様なユネスコ活動ネットワーク拠点の戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開**を一体的に推進する体制を構築・運営する。
- **地域の個性とユネスコ活動のメリットを生かした地方創成や多文化共生社会の構築**、若者や民間企業を含む多様なステークホルダーとの連携を深める戦略的なプラットフォームの活動を通じて、ユネスコ活動の活性化を通じた「新たな日常」における**持続可能な社会の構築を推進するとともに、多様な変化に対応できる人材の育成**を図る。



ユネスコ未来共創プラットフォームポータルサイト

<https://unesco-sdgs.mext.go.jp/>

- ・ユネスコスクールはじめ、他分野にわたるユネスコ活動の情報発信



期待される効果

- (i) 急速な社会変化に即応した恒常的な情報発信、
- (ii) 民間団体との連携強化、
- (iii) 国内のユネスコ活動と国際協力の成果の往還を通じて、我が国のユネスコ活動が我が国やユネスコの優先課題の解決を通じて持続可能な社会の構築に貢献

第12回ESD大賞—Education For Sustainable Development Award—

概要

- ユネスコスクール全国大会に合わせて、NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムが、ESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施。

趣旨

- 学校全体での取り組み、地域社会とのつながり、地域の特色を活かすことを大事にした具体的な取り組み、独自性のある取り組み実践例などの募集及び表彰を通じ、学校でESDの概念に基づいた教育が積極的に実践され、持続可能な社会の構築に参画する人間づくりの推進に寄与すること

主催・後援

- 主催：NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム
- [後援] 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、（公財）ユネスコ・アジア文化センター、（公社）日本ユネスコ協会連盟、（株）教育新聞社

対象

- 全国の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、小中一貫校、特別支援学校

第12回ESD大賞受賞校

- 全体で25校の応募があり、審査の結果、以下の6校が受賞した。

〈文部科学大臣賞〉	東京都渋谷教育学園渋谷中学高等学校
〈ユネスコスクール最優秀賞〉	宮城県気仙沼市立鹿折小学校
〈小学校賞〉	福井県勝山市立平泉寺小学校
〈中学校賞〉	茨城県牛久市立おくの義務教育学校
〈高等学校賞〉	広島県立広島国泰寺高等学校
〈審査員特別賞〉	兵庫県立兵庫高等学校



令和3年度ユネスコ未来共創プラットフォーム事業 「全国セミナー」

趣旨

- 令和3年度「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事業の**一環として、オンライン**で開催。
- 日本のユネスコ加盟70周年を機に、ユネスコ活動を例として、**社会課題解決や新たな価値創造の活動**について、**どのようなことができるのかを共に考え合い、実現に向けた動きにつなげる**機会とする。

開催概要

- **日時**：令和3年12月4日（土）
10:00～16:40（予定）
- **場所**：Zoomによるオンライン開催
- **テーマ**：日本ユネスコ加盟70周年記念～
ユネスコ活動が「自分ごと・自分たちごと」になる明日（あした）

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 10:00～12:00 | 全大会 |
| 12:00～13:00 | 昼休み（午後からの分科会準備） |
| 13:00～14:00 | 分科会前半 |
| | 【テーマ】
相互理解と交流：
「知り合う、聴き合う、交じり合う」 |
| 14:05～15:35 | 分科会後半 |
| | 【テーマ】
実際の事例を使って社会課題解決を
「自分（たち）ごと化」してみる。 |
| 15:40～16:40 | 全大会 |

つながる、
語らう、
解決する。

未来を動かす仲間になりませんか？

ユネスコ未来

令和3年度 文部科学省ユネスコ未来共創プラットフォーム
全国セミナー開催します

ユネスコ活動や社会課題解決に関心がある全国の人たちと交流することができます。

12月4日
オンライン開催!! 参加費無料
開催時間10:00-16:40

お申し込み
情報の詳細
はコチラ

文部科学省

<https://unesco-sdgs.mext.go.jp>